

# 欧州都市計画事情《レッジョ・エミリア市》

## ～歴史的町並みを活かした都市マーケティング戦略～

研究第二部 主任研究員 寺島 清美



### 1. はじめに

平成13年9月に、スペインのバルセロナで、国際住宅・都市計画連合国際会議が開催されるのを機に、会議のテーマである「都市の更新」について、欧州の3都市の公式訪問を通して、それまでの歴史的建造物を破壊する再開発手法から、歴史的建造物を保護し、歴史的景観に配慮した商業環境の再整備などにより、街の新たな魅力付けを図る、など都市再生手法の実体を直に調査確認した。

以下、主な公式訪問都市での調査概要を記す。

### 2. レッジョ・エミリア市を訪問して

#### 街の歴史、特色

レッジョ・エミリア市は、イタリア北部エミリア・ロマーニャ州にあり、人口約14.6万人の都市で、ミラノから南東約150km、ボローニャから北西約63kmに位置する。

マックス・マラーのような有名企業の立地が進んだこと、周囲の農業生産性の高さから、市財政は極めて豊かであり、イタリア国内の住みたい町アンケートでも近年上位にランクされている。この他、先進的な幼児教育でも、世界的に有名である。

旧市街地は、東西約2km、南北約1.5kmの13世紀の城壁跡に造られた六角形の外郭道路に囲まれたコンパクトな市街地を形成し、歴史的建造物が密集している。歴史は古く、ローマ時代以来のエミリア街道（ローマ帝国の軍用道路）が城郭内を東西に貫いている。中心部は教会、市庁舎等に取り囲まれた広場が多数存在し、その中の市議会議事堂には、1797年イタリア国旗の三色旗の原案が、当地で制定されたことを記念する博物館もある。

#### 歴史的都心地区（チェントロ・ストリコ）の保存と整備

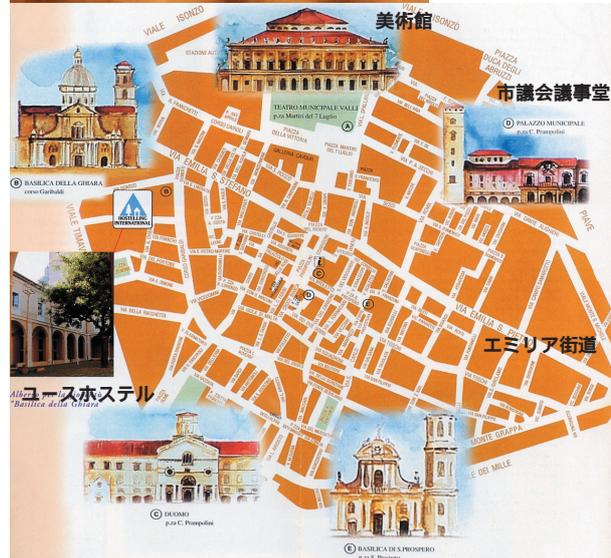
イタリアでは、1967年の都市計画法の改正により、都市マスタープランの中で「歴史的都心地区」の指定を行うことができ、面的に保存する計画を立てる制度が確立した。これは、それまでの歴史的建造物を破壊する再開発手法から、歴史的景観を徹底的に



左上がイタリア全図（サッカーの中田英寿が所属するバルマは隣町である）



国旗の原案

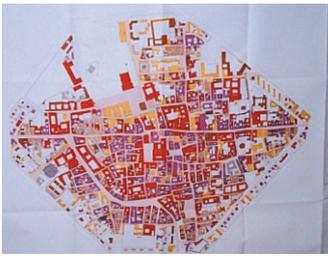


六角形の城壁に囲まれた旧市街地（歴史的都心地区）

守る都市再生手法への転換となった。

各自治体が地区指定を行い、公的な建物は、修復が主で歴史的建造物の外観は保存しつつ、内部を現代的に修復している。レッジョ・エミリア市でも、1600年代の修道院が、1800年代には裁判所となり、それを現在の市庁舎としたり、ユースホテルとして再活用している事例がある。木造建築が中心の日本では、歴史的な建築物を他の用途に再利用するという考え方は余り馴染みがない。

また、古い建築様式の修復技術を継承する為、専門の学校や指定業者制度があったり、詳細な修復マニュアルも作成されるなど、我が国の「開発」か「保全」かの二者択一でなく、「保全」しつつ、「改造」という幅の広い取り組みを、みずからの伝統として息長く続けている体制に改めて感銘を受けた。



レッジョ・エミリア市 中心市街地商業配置図



エミリア街道沿いの商店街



エミリア街道

中心市街地活性化方策 「都市マ - ケティング」による都心再生施策の成功

イタリアの各都市は、上記の都心保存策と並行して中心市街地活性化策を工夫している。

かつて、レッジョ・エミリア市は、知名度もない田舎町であり、デパート1軒と古いアーケードがあるのみでは、郊外に進出を始めた大規模店に対抗できず、都心部は斜陽化傾向にあった。

そこで、市としては歴史的旧市街地を全体として位置づけ、その魅力を発揮させる施策や、買い物や飲食の快適性を生み出す総合的な施策が必要と考えられたのである。市および商工会議所は、この歴史的都心地区の保存と同時に、他都市との都市間競争に打ち勝つべく、この旧市街地都心部を巨大な自然の屋外商業集積（ショッピング・センター）として機能させようとして、以下の方策を打ち出している。

a. 歴史的町並みの保存と主要通り、広場沿いの個性的商店の設置

中心部の小売店は約1,000店で、そのほとんどが16~18世紀の建物の1階部分にあるため、この町並みの保存や修復を図っている。この他、旧市街内の公園の再生を行ったり、広場や主要道路沿いの個性的ブティック店や飲食店の配置等により、都心部の魅力、集客力の向上を図っている。

b. 集合駐車場の積極的整備

旧城壁を旧市街地を取り囲む外郭道路として整備し、それ沿いに3つの集合駐車場を整備した。そこから中心部まで往復無料バスサービスを実施している。歴史的建造物内部や都心部に駐車場を大規模に整備することは、大規模な再開発につながり、中心部の歴史的景観の破壊に結びつくことから、それを避け駐車場を極力、集合化させ周辺部に配置している。



マックス・マラー本店



外郭道路

c. 車の乗り入れ規制と歩行者専用路網の配置

この集合駐車場から、歩行者専用の散策路を張り巡らせ、郊外や他都市からの散歩、飲食客に快適な都市空間を用意する。車を旧市街内に自由に乗り入れさせると街中が車で占拠される事例が欧州各都市で見られ、当市では中世以来の街路の為、道路幅員が狭く、都心部を中心に車の乗り入れ規制を実施している。

3. おわりに

今回の欧州都市計画事情調査は、「都市の再生」をテーマに、イタリアのレッジョ・エミリア市等の中小都市における土地利用・建築規制や交通規制、またトランジットモール化等により歴史的景観にも配慮した中心市街地の活性化方策等の成功例としての事情調査ができた。

現在、日本においても、「都市再生」という大きなテーマがあるが、その枠組みのひとつである「水辺都市再生事業」の一端に携わる者として、今回の調査は、欧州との生活慣習や、歴史的な背景などの違いはあるにせよ、貴重な示唆を与えてくれたように思われる。